

# 2024年度事業報告書

(2024年4月1日～2025年3月31日)

## 1. 概況

2024年度も従来通り、公益財団法人上原美術館として各種公益目的事業活動の推進を基本とする運営を目指し、展覧会、実技講座の開催、トークイベント、ワークショップなど実施した。

展示は継続事業となる仏教美術調査の成果を発表した特別展『仏像でみる伊豆の平安時代』のほか、館蔵品の個々の魅力を紹介する『上原コレクション名品選』等を開催した。また、公開では、展覧会ごとに紹介動画をホームページでアーカイブするほか、YouTubeを活用し教育普及を目的とした動画を配信するなど積極的に取り組んだ。

今年度も引き続き学芸員が静岡県をはじめとする文化財保護審議委員や河津町史編纂委員会副委員長を務め、地域文化の保護に努めたほか、静岡県博物館協会事業推進グループの委員に参加し、県内の文化向上への貢献を図った。収蔵品や寺院調査にもとづく調査研究を引き続き実施し、講演や専門誌を通じて学芸員が研究発表を行った。

また美術館の安定的、継続的な事業運営を目指す中長期計画を検討し、当面の建屋、施設の修繕工事スケジュールなどを策定した。

## 2. 上原美術館の運営管理(定款第5条第1号)

### － 2024年度美術館入館者及び収入実績

2017年のリニューアル・オープン以降、仏教館・近代館共通で、大人1,000円、学生500円、高校生以下は無料とした。

公益財団法人 上原美術館			
入館者数	入館収入	図録等販売収入	収入合計
11,092名	839万円	79万円	918万円

〔入館者内訳〕

*大人	10,184人
*学生(大学生、専門学校生)	173人
*高校生以下	735人

### 3. 美術品の展示及び公開(定款第5条第2号)

#### (1) 企画展

<b>【仏教館】企画展 都の祈り 伊豆の祈り</b> <b>【近代館】企画展 もののありか 静物画のふしぎ</b>	
開催期間	4月27日(土)～9月23日(月・休) [146日間] 出展作品数 64点 入館者数 3,793名
内容	仏教館は収蔵品の仏像と伊豆半島に伝わる江戸時代の仏像を展示し、中央と地方、それぞれの仏像の魅力に迫った。近代館はコレクションにみる静物画の不思議な魅力を紹介した。
<b>【仏教館】特別展 仏像でみる伊豆の平安時代</b> <b>【近代館】企画展 ものがたりをよむ</b>	
開催期間	10月5日(土)～2025年1月13日(月・祝) [101日間] 出展作品数 66点 入館者数 4,340名
内容	仏教館は伊豆に伝わる平安時代に造られた仏像を展示し、伊豆の仏教美術の豊かさを紹介する展覧会を開催した。近代館は新収蔵した小林古径《井筒》を中心に物語を題材とした作品を紹介した。
<b>【仏教館】企画展 ちいさきものは みなうつくし</b> <b>【近代館】企画展 あわいひかり やわらかないろ</b>	
開催期間	2025年1月25日(土)～4月13日(日) [79日間] 出展作品数 79点 入館者数 2,969名
内容	仏教館は新収蔵した《高野大師行状図画断簡》を中心にコレクションを展示した。 近代館は新収蔵の安井曾太郎《庭の雪》を中心にやわらかな色彩表現からコレクションの魅力を紹介した。

#### (2) 教室生徒の作品展(※入場無料)

全教室の作品展をアトリエにて実施した。

教室名	開催期間[開催日数]
仏像彫刻教室	2月19日～2月23日[5日間] 出展作品数 36点 入場者数 67名
写経教室	3月4日～3月8日[5日間] 出展作品数 21点 入場者数 47名

デッサン・水彩画教室	3月20日～3月24日[5日間] 出展作品数 27点 入場者数 125名
日本画教室	3月27日～3月31日[5日間] 出展作品数 24点 入場者数 131名

### (3) 館外出品

国内外で開催された4展覧会へ収蔵品の貸出を行った。

展覧会名	「崇高さに関する抽象的な覚書」 於：広島市現代美術館
開催期間	3月30日(土)～6月9日(日) [72日間]
貸出作品	須田国太郎《牡丹》
展覧会名	「岸田劉生・北蓮蔵・曾宮一念—浜松ゆかりの洋画家—」 於：浜松市美術館
開催期間	4月13日(土)～6月2日(日) [51日間]
貸出作品	岸田劉生《麗子微笑像》、《静物》
展覧会名	「日本が見たドニ ドニが見た日本」 於：①新潟県立近代美術館 ②久留米市美術館
開催期間	① 8月27日(火)～10月20日(日) [55日間] ② 11月2日(土)～2025年1月13日(月・祝) [73日間]
貸出作品	ピエール・ボナール《雨降りのル・カネ風景》、自筆書簡
展覧会名	「PARALLEL MODE：オディロン・ルドン—光の夢、影の輝き—」 於：①岐阜県美術館 ②ひろしま美術館 ③パナソニック汐留美術館
開催期間	① 9月27日(金)～12月8日(日) [73日間] ② 2025年1月11日(土)～3月23日(日) [72日間] ③ 2025年4月12日(土)～6月22日(日) [63日間]
貸出作品	オディロン・ルドン《読書の女》、《ダンテとベアトリーチェ》、 《ダンテの幻影》、《花瓶の花》(岐阜会場のみ)

## 4. 美術品の収集、整理及び保管(定款第5条第3号)

### (1) 美術品の収集

本年度は、以下の作品を購入した。

購入作品	
作者名	作品名
安井曾太郎	庭の雪
鏑木清方	鳥かげ

鏑木清方	不動の滝
梅原龍三郎	結髪
山本正道	デッサン 3点(ルノワールの庭)
不詳	誕生仏
不詳	華嚴経断簡(二月堂焼経)

本年度は以下の作品の寄贈を受けた。

受贈作品	
作者名	作品名
なし	なし

## (2) 美術品の整理及び保管

上原美術館では、引き続き温湿度や空気質、電力使用量のデータ収集分析等、館内の環境調査を専門家とともに実施し、美術品保存環境の維持に努めた。また、IPM(総合的病害虫管理)の考え方に基づいた文化財害虫やカビの予防管理も行った。

## 5. 美術品に関する調査研究及び研修会、講演会等の開催

(定款第5条第4号)

仏像彫刻教室		
講師[仏像彫刻家]	受講者	開催日時
岩松 拾文氏 大谷 文進氏	28名	毎月1回(年 11回実施) 第3日曜日
写経教室		
講師[書家]	受講者	開催日時
山田 修也氏	24名	毎月1回(年 12回実施) 第2日曜日
仏教美術講座		
講師	受講者	開催日時
当館学芸員(交代)	20名	毎月1回(年 10回実施) 第2日曜日
デッサン・水彩画教室		
講師[現代美術作家]	受講者	開催日時

小野 憲一氏	15 名	毎月 2 回(年 22 回実施) 第 2・4 水曜日
日本画教室		
講師[日本画家]	受講者	開催日時
牧野 伸英氏	13 名	毎月 2 回(年 22 回実施) 第 2・4 火曜日

### (1) 調査研究

今年度は以下の寺院調査、実見を行った。

- ① 富士市中之郷・宗清寺調査(2024 年 6 月 25 日)
- ② 熱海市泉地区調査(2024 年 7 月 5 日)
- ③ 伊豆の国市中條・長光寺調査(2024 年 11 月 11 日)
- ④ 下田市須原・中村公会堂調査(2024 年 12 月 1 日)
- ⑤ 富士市岩本・実相寺調査  
(2024 年 12 月 18 日、2025 年 3 月 10 日・11 日)
- ⑥ 下田市須原・楞沢寺調査(2025 年 2 月 15 日)
- ⑦ 伊豆の国市宗光寺・慶寿院調査(2025 年 2 月 26 日)

### (2) 研修会の開催

本年度も仏像彫刻教室、写経教室、仏教美術講座、日本画教室、デッサン・水彩画教室の 5 教室を開催した。

### (3) 講演会の開催

今年度は開催しなかった。

### (4) ギャラリートーク等の開催(会場：上原美術館)

ギャラリートーク 講師：当館学芸員

計 10 回開催 参加者合計 271 名

### (5) ワークショップ開催

(講師：当館学芸員、牧野伸英氏、小野憲一氏)

今年度は以下のワークショップを開催した。

ワークショップ名	開催先	開催日	参加人数
親子で色あそび、透明	上原美術館アトリエ	7 月 28 日	15 名

水彩で一色マスターになろう！			
家族で色あそび、透明水彩で一あおであそぼう！	上原美術館アトリエ	7月29日	13名
初心者のためのデッサン教室	上原美術館アトリエ	7月31日 ～8月2日	6名
石からえのぐをつくって日本画をかいてみよう	伊東市立伊東図書館	8月20日	28名
伊豆の国市こども教室はじめての日本画体験	茅野っこひろば(伊豆の国市)	8月22日	15名
おとなの日本画体験	上原美術館アトリエ	11月2日	11名
ピカピカ金の箔でお絵描き！	上原美術館アトリエ	11月3日	18名
親子でいろあそび いろの世界をのぞいてみよう！	上原美術館アトリエ	2025年2月8日	18名

伊東市立図書館および、伊豆の国市生涯学習課が主催したワークショップは、当館へ講師依頼があり協力を行った。

(6) 外部からの依頼による講演会開催(講師：当館学芸員)

講演名	開催日時	聴講者
河津町・介護家族の会の講演	4月10日	30名
三島市・成真寺の講演	5月14日	10名
熱海市・末代上人を讃える会講演	6月9日	20名
下田市・下田市寿大学の講演	6月19日	55名
河津町・河津町議会の講演	7月19日	15名
伊豆の国市・真珠院の講演	8月1日	30名
静岡大学東部サテライトキャンパス講座	10月28日 11月25日	30名
河津町・南禅寺仏像群重文指定記念講演	11月4日	70名
南伊豆町史通史編刊行記念講演	11月9日	70名
下田市史講座で講演	11月26日	50名

富士市立西図書館講座講演	12月5日	60名
みしまのお寺めぐりの会講演	12月22日	130名
MOA美術館職員向け講座	2025年2月7日	20名
三島市・西福寺の講演	2025年2月11日	50名
静岡県文化財 3Dデータ化プロジェクト 体験会	2025年2月2日 2月24日 3月2日	250名

(7) 動画やウェブによる教育普及活動

日本画教室講師の牧野伸英氏に協力をいただき、日本画の描き方を紹介する動画を YouTube 上にて公開した。昨年度より始めた動画は、日本画への関心を高め、美術愛好家(海外を含む)や教室参加者の日本画理解の一助となっている。

また、デッサン・ワークショップで使用する教材を一般向けに改良し、ホームページで公開した。

そのほか、展覧会ごとに紹介動画を作成し、ホームページでアーカイブを公開している。

6. 美術品に関する資料の収集、保管及び公開 (定款第5条第5号)

調査研究、公開を目的に美術関係図書や美術関係資料等、また仏教美術、伊豆半島の地誌を主体とした調査研究に関連する書物を収集した。

- ・本年度の収集図書数 321 冊 (仏教 116 冊、近代 205 冊)

7. 美術品に関する解説書等刊行物の作成頒布(定款第5条第6号)

	内容
年間展示予定	2024 年度の上原美術館展示案内を作成。 1 年間を通して開催する展覧会与当館の紹介を行った。
ポスター等	展示会毎にポスター・チラシの作成頒布。
美術館だより	年 4 回発行。 (1 回約 4,000 部を無料頒布)
展覧会解説文	展覧会の解説を作成し希望者に無料配布するほか、作品解説の英訳の配布も開始した。

音声ガイド	音声ガイドアプリ『ポケット学芸員』を導入し、展覧会の作品解説の音声ガイドと無料公開を開始した。
展覧会動画	展覧会ごとに解説動画を作成し、館内で放映するほか、YouTubeに公開し、ホームページにてアーカイブを公開している。
展覧会図録	特別展『仏像でみる伊豆の平安時代』では展覧会報告図録を作成し、希望者には販売した。
その他	展覧会ごとに出品リストを作成し、来館者へ無料頒布した。

## 8. その他目的を達成するために必要な事業(定款第5条第7号)

地域の教育文化の向上を目的として、今年度も高校生以下は年間を通して無料とした。

また、小中学生、高校生を対象とした出張授業や授業入館、学芸員を目指す学生を対象にした博物館実習、教職員の外部研修受け入れも継続して実施した。

その他にも、静岡県博物館協会事業推進グループのほか、県市町の文化財保護審議会委員を学芸員がつとめ、地域文化向上に寄与した。

### (1) 学校教育との連携

今年度も以下の学校教育との連携をはかった。出張授業は、主に伊豆地域の小・中学校、高校から依頼があり、奈良・京都方面の修学旅行の事前学習や、美術鑑賞教育を行った。

また今年度も昨年度に続き、静岡文化芸術大学と提携し、学芸員資格の取得を目指す学生の博物館実習受け入れを行ったほか、大学で博物館学の出張授業を実施した。静岡文化芸術大学とは今後も継続して学生の実習受け入れを行うことを予定している。

- ・出張授業 8校(9回) 合計 554名
- ・授業入館 6校(11回)、1園(1回)、団体(1回) 合計 366名
- ・教員研修 1名(下田市立稲梓小学校・キャリア開発研修Ⅱ)
- ・博物館実習 6名

(静岡文化芸術大学、大東文化大学、京都工芸美術大学)

(2) 美術館の安定的、継続的な事業運営を目指して、中長期計画の検討を継続的に実施している。開館以来、仏教館は41年、近代館は

24年が経過し、今後、具体的な建物の修繕計画等が必要となるため、鹿島建設株式会社とコンサルタント契約を結び、中長期的な施設管理維持を前提とした近代館の修繕工事を2026年度から開始する計画である。

### (3) その他

地域文化への貢献として、田島整上席学芸員が静岡県文化財保護審議委員に新たに就任したほか、引き続き熱海市、下田市、伊東市、富士市、河津町、南伊豆町の文化財保護審議会委員として各市町の文化財指定や文化財保護に関わった。県審議委員として、県指定文化財の修復状況視察、文化財の3D計測事業の立ち会いを行った。町史編纂事業では、河津町史編纂委員会で副委員長をつとめ、河津町史編纂事業に携わり、南伊豆町史編纂委員の活動も行った。また河津町・南禅寺仏像群における地域と美術館の取り組みについて、日本経済新聞社、読売新聞社の取材対応を行った。

土森智典上席学芸員は昨年度に引き続き、静岡県博物館協会の事業推進グループに参加し、静岡県内の美術館・博物館等との連携構築、講習会の開催や災害時の加盟館・園の協力体制の整備を行った。

以上